

第5回宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成26年12月19日（金） 15時00分～17時10分
2. 場所 シートピアなど 2階研修ホール
3. 出席委員 13名
北原啓司、澤田克司、赤沼正清、太長根理恵子、小野寺文雄、盛合敏子、
林本卓男、中野正隆、伊藤和榮、佐香英一、鈴木光子、金野侑、
平藤一氏幸
4. 事務局出席者 4名
総務企画部長 佐藤廣昭、企画課長 山崎政典
同課市街地施設推進室長 岩間健、同室主任 竹田真人
（委託業者）
パシフィックコンサルタンツ株式会社 2名
株式会社千代田コンサルタント 2名
5. 傍聴者 5名
6. 議題 （1）宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本計画（案）について
（2）その他
7. 議事録（要旨）
（1）宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本計画（案）について

主な意見及び質疑事項

質疑

- ・自由通路の整備について、庁内での検討状況はどうなっているか。方向性を聞きたい。

回答

- ・庁内では、市長、副市長も交えた会議において、今回資料を準備できなかった「自由通路」に加え、「洪水対策」、「交通対策」の諸課題について、意見交換している。自由通路については、整備するという方向性は確定しており、形状や財源について整理し、比較検討表を作成しており、次回の委員会で資料をお配りし、説明したい。

質疑

- ・自由通路についての記載は、構成上どこに入れるか。11Pの「拠点施設を中心としたネットワークイメージ」についても、自由通路は大事な情報で、「まちとの関係性」もしっかり表現すべき。

回答

- ・第5章で説明したいと思っている。イメージ図は、訂正したい。

質疑

- ・自由通路については、「通路」という表現で良いのか。車は通れないのか。例えば、「大橋」等の呼称はどうか。駅や末広町に展開するためのシンボリックな施設であることを前提として欲しい。

回答

- ・車道は検討していない。施設全体も含めて、ネーミングを募集することを検討したい。現在は、「地域防災施設」「一時避難場所」という施設の性質上、役所言葉ではあるが、「自

由通路」、「避難通路」と表記している。復興庁協議等を進めながら、今後ネーミングについて、検討していく。

・他自治体でも復興庁協議の際に、施設名称をどうするか議論になったことがある。やわらかいイメージは大事であるので、検討課題の一つとしておくこと。

質疑

・車道は一切考えていないという回答であったが、非常に大事なことであり、最初から「検討しない」ではなく、議論の俎上に載せたうえで、経過を報告して欲しい。検討の結果、「やむを得ない」であれば仕方がないが議論はするべき。特に、「にぎわいの創出」という点においては、必要な整備項目ではないか。商店街も数年後には営業をやめる店も出てくるなど、非常に危機的な状況となっており、このままでは「まちが成り立たない」と認識している。

回答

・駅の南北をつなぐ通路は、車道に出来ないという説明をしたが、交通対策として、都市計画課を中心に「八幡沖踏切」の道路改良などを検討中であるので、次回説明したい。

・計画自体が施設整備に関するハード的な書き込みが多く、都市計画の観点、まちづくりでの観点での記載が弱い。文章で書いているだけで、イメージが貧弱である。交通体系のことを考えているのであれば、具体的な対応策を掲示するべきである。都市計画の担当とすり合わせて、記載内容を検討し、「出来ること」と「出来ないこと」をしっかりと表現して欲しい。

質疑

・33Pであるが、職員の計画指標を見直したことにより、本庁舎の面積を1,000㎡削っているが、35Pでは集約しない場合の対応を説明している。庁舎建替えの最大のメリットは、行政機能の集約であると思うが、それも遅れるという認識で良いか。

回答

・現在、他自治体等から約50人の職員を派遣していただいている。復興事業が続くなかで、それらが完成時点までに急激に落ち着いてくるかは、流動的な要素がある。例えば、部内の連携で事務の効率化が図られることや、公用車を組織で運用し、公用車を減らすことも考えられる。

質疑

・分庁舎や新里庁舎に入っている行政機能が集約できるかがポイントになると思うが、集約できるタイミングが遅れる可能性があるという含みを持たせて検討していくという認識で良いか。

回答

・そのとおりである。

質疑

・3つの機能であるが、例えば、会議室をお互いに利用できるような考え方を前提に面積を算定したのか、それとも立て割りで、それぞれの必要面積を単純に算定したのか。

回答

・本庁舎と保健センターの会議室は共用としたい。防災・地域活力創出拠点施設について

は、市民活動に支障がない範囲で、行政側も利用できるよう、一定のルールを作って運用したいと考えている。面積については、この面積で確定ではなく、最小限になるよう検証し、精査していきたい。

質疑

- ・固有業務スペースとは。

回答

- ・各課で保有している業務スペース。例えば、窓口機能であるが、プライバシーに配慮するために、窓口と待合スペースの一定の距離が必要であり、それなりの面積を要する。

意見

- ・建物についての議論が「主」となっているが、本来は「従」ではないか。もう少し、建物に入り込む「ソフト面」で面積を検討して欲しい。以前、商業観光課が田老庁舎に移った際、関係団体として、市の中心部に戻して欲しいと要望を出したことがある。全て集約する必要性はないと思うが、人の往来が多い部署等を中心に考えて欲しい。集約については、全体像を見せないと俯瞰的なものにつかめない。

自由通路についても、個人的には自動車を通れる道路にするべきと思う。都市計画や道路交通に関しても精査し、計画の全体像を示してほしい。

回答

- ・全体的な計画を俯瞰的に示すようにしたい。方向性としては、総合事務所の機能は、各地区に存続し、それ以外の部署を集約する予定である。

意見

- ・自動車についての書き込みは多かったが、自転車については、あまり記載されていない。キャトル前は、点字ブロックを塞ぐように駐輪している。施設整備により、駐輪場に止め切れない自転車が、指定以外の場所に止めるなどの余波が無いように検証して欲しい。

また、市民活動・市民交流などの機能のまとめ方については、今回はハードありきの記載が目立ったが、今回は、サービスや支援といった記載が多く、だんだんと良い計画になっていると感じた。新しい施設の機能については、関係者にアンケートや聞き取り調査をしているようだが、これをそのまま反映させるものではないと思う。色々と他の事例を基に検討していると思うが、個人的には、より発展的な空間を設けても良いと思う。例えば、美術の分野では、アーティストが滞在し、作品を制作してもらう場所を作る、有名な作品を展示する等、色々工夫できると思う。

回答

- ・自転車の件であるが、他の場所の例として、通路をスロープにしたり、自転車でも利用できるエレベーターを設置しているなど対策している。それらを含めて検討して欲しい。
- ・エレベーターを自転車対応にすることは、検討材料の一つで、車いすの方が2台分同時に利用できるなどのメリットもあると思う。投資を惜しむと効果が得られない事項もあるので、ある程度の投資は必要不可欠だと認識している。

質疑

・３３Ｐで記載のある「新市基本計画」で定めた「職員適正化計画」は、何に基づいて目標指標を定めたのか。

回答

・将来的な人口や業務量を予測して、定めたものである。

意見

・合併時点での１０年後としているが、減価償却は１０年では出来ない。もう少し長いスパンで計画し、面積を定めて欲しい。

質疑

・国際交流サロンとはどんな機能か。

回答

・定住外国人や観光で宮古市を訪れる外国人のための活動スペース。市内には、それらを支援する団体はあるが、活動場所は持っていない。東日本大震災の際にも、災害時の外国人の適切な避難誘導などに関して課題を残したが、平常時の関わりを強化することで、それらの体制が確立でき、「おもてなし」の１つの活動になる。

質疑

・和室を２０㎡削った理由は。

回答

・防災学習室として、また、日本舞踊のような活動に使う部屋と想定している。今後、施設全体の避難者受入数などを基に面積を確定し、復興庁と協議していくため、それらを踏まえて、面積を精査したい。

質疑

・キャトルすくすくランドとの機能分担はどのように計画しているか。

回答

・ひかり幼稚園や小山田保育所にも子育て機能がある。田老・新里は出前型で支援機能を提供しているが、頻度が少ないという利用者の声もある。

キャトルすくすくランドは、親子一緒に過ごし、相談をする機能も設けているが、防災展示や市民活動・交流機能がメインとなることから、それらを利活用する方が過ごすスペースというイメージである。

・前回までは、「親のための支援室」というイメージであったが、「子どものための活動場所」に変わっていると思われる。

意見

・前回中央通商店街の高橋理事長から、何でも拠点施設に集約するのは反対だとする意見が出されたが、同意見である。まちの空洞化を引き起す恐れがある。

質疑

・耐震に関して、各方式を比較しているが、最終的に「耐震構造」という選択肢もあるのか。

回答

・耐震性能としては、一般の基準の「１．５倍」、「１．２５倍」といった性能を有するこ

とが前提条件であるが、構造的にどれを採用するかは、コストも含めて検証したい。
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由通路と同様に、どこでお金を使うかという判断になると思うが、「免震構造」は、振動自体を相当軽減する効果もある。「耐震構造」と「制振構造」、「免震構造」のコストはどの程度開きがあるか。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免震構造自体が普及しており、以前より安価になっている。「耐震構造」を「1. 0」とすると、「免震構造」は、「1. 1～1. 2」程度。
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールを見ると、実は工事までに余裕がない。ソフト面での議論ができる期限はいつになるか。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度、契約にあたって2ヶ月ぐらいを要する。基本設計と実施設計の作業になり、基本設計は概ね4カ月程度と想定される。その期間内である程度、設計内容は固まってしまう。その後も、建設後にどのように施設を運営していくか等の課題があるので、皆様の意見をいただきたい。
<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民検討委員会自体の活動期間はいつまでとなるか。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任期は本年度内としたが、継続するか新規で設置するかは別として、組織としては次年度以降も設ける方向で進めたい。設計や運営、跡地活用など、テーマが変わっていくことを想定している。

北原委員長

設計業務委託時のプロポーザル審査委員会は別に設置するとのことだが、こちらの委員会と連動するようにすること。

今回、空欄の箇所も含めて、交通体系の問題や、ネーミング募集の件、駐輪場の件、行政組織の全体像など、何点か宿題が出ている。次回は、それらを中心に説明をいただき、検討することにしたい。

(2) その他

事務局から

市民ワークショップに関しての進捗状況を説明する。また、別途、基本計画（案）に関する意見照会をしているので、あわせて回答依頼する。

次回第6回は、1月23日15時、分庁舎3階大会議室を予定する。

第7回は、2月12日15時、本庁舎6階大ホールを予定する。以上、閉会。